

風を感じて

北海道拓北養護学校
学校便り No.593
令和7年度 第9号

2025. 12. 23

2学期を振り返って

教頭 吉岡 奈穂子

猛暑から始まった2学期ですが、今は駐車場に雪が積もり、日に日に寒さが身に染みる季節となりました。本校1年目の私は、隣接する拓北公園や校舎周辺の四季折々の姿に新鮮な驚きを感じながら過ごしてきました。

2学期は1年で最も長い学期になります。個別の指導計画の前期評価、後期目標の設定が行われる大切な学期であり、保護者の皆様と子どもたちの成長と新たな目標等を懇談等で確認させていただきました。今年は個別の指導計画の様式が変わり、戸惑われた保護者の方もいらっしゃると思いますが、各担任からお子さんの成長についてしっかり説明があったと思います。3学期も家庭と学校、地域の皆様と連携を深めながら、一人一人の確かな成長を支えていきたいと考えています。

さて、学校行事についても目白押しでした。校外学習や泊学習、学習発表会、拓養祭、今年から地域活動プログラムも加わり、子どもたちの様々な表情をたくさん見ることができました。学習発表会や拓養祭では、多くの事業所の皆様が、子どもたちに声援を送ってくださいました。中には、本校の子どもの「推しうちわ」を持参して来校された方もいらっしゃいました。事業所の皆様の声援に嬉しそうな、時には得意げな表情を浮かべて応える子どもたちの姿から、地域の皆様に愛情をもって支えられていることを強く実感しました。

また、12月には、子どもたちの授業時間に地震があり、改めて防災への意識を高める機会となりました。日々の訓練を受け、防災頭巾を自ら被り避難に備える子どもの姿も見られました。今年は保護者の皆様の御協力の下、全学部において校地外避難訓練を実施することができました。今後も、学校全体で防災対策について考え、子どもたちの安全・安心な学習環境を整えていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、本校の教育活動への御理解と御協力に改めて感謝申し上げます。3学期も、どうぞよろしくお願ひいたします。よいお年をお迎えください。

3学期始業式について

児童生徒が、冬休みの生活を振り返るとともに、3学期の学習活動に期待をもつことを主なねらいとして、3学期の始業式を行います。

なお、当日は下校時刻が変更となりますので、御確認ください。

日時

1月16日（金）10：00～10：20 全学部（体育館）

下校時刻 11：30～11：45（スクールバス発車）

令和7年度北海道拓北養護学校公開授業研究会について

12月10日（水）に行われました公開授業研究会につきまして、下校時間や授業時間の変更への御協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして無事に研究会を終えることができました。

また、開かれた学校づくりとして公開授業研究会というかたちをとり、近隣の小中学校等に呼びかけたところ、総勢27名の学校関係者および事業所、保護者の方々に御参加いただきました。

今後も研修会等の機会を設け、児童生徒への還元や地域への発信に努めていきますので、本校の教育への御理解と御協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

【研究センター 佐伯】

第39回北海道肢体不自由・病弱教育校スポーツ大会

第39回北海道肢体不自由・病弱教育校スポーツ大会が、12月11日（木）北海道拓北養護学校 北海道網走養護学校 北海道手稲養護学校 北海道真駒内養護学校 北海道旭川養護学校 北海道函館養護学校 市立札幌北翔支援学校 市立札幌豊成支援学校 市立札幌山の手支援学校 北海道手稲養護学校三角山分校の10校をオンラインでつないで開催されました。

前日の交流会を経て、当日の競技会には中学部1～3年生までの21名が選手として、1名の欠席もなく出場することができました。競技内容は、「車椅子30m折り返し走」「30m折り返し走」「申告レース」「ターゲットボッチャ」「ハンドアーチェリー」でした。

毎朝練習に取り組み、当日はたくさんの応援の中緊張しながらもそれぞれに力を出し切って精一杯頑張りました。今年度はたくさんの選手が参加することができ、大変盛り上がりました。

また、普段なかなか関わることのできない他校の児童生徒と交流もでき、とても有意義な経験をすることができました。



【カルチャー・スポーツチーム 柳谷】

